



ロータリーは機会の扉を開く

会報

2020 ▶ 2021
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

60年の歴史に敬意と感謝を
そして、これから100年に
向けての礎を築こう!

会長/辻本 哲也 幹事/燕 美雪

プログラム

(第16号・第17号) 合併号

- 本日
「移動夜間例会」
- 次週予定
「年次総会」

会員誕生日
串 橋 伸 幸

No. 2881
第16回 11月11日

出席報告

前
例
会

会員総数	27名
出免会員	3名
出免出席	3名
基準会員出席	22名
出席率	81.48%

前
々
会

第14回 10月21日	
欠席会員	3名
内メイクアップ	18名
修正出席率	77.77%

例会/毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 10月23日18時30分より留萌産業会館議員クラブにて第5回定例理事会を開催しました。クリスマス家族会の予算案承認、10月末の会計報告の承認と11月例会のプログラムの承認を致しました。また、今年度の理事会でクラブ会長の2度目の就任の是非について、クラブフォーラムを開催し、検討する事を決定しました。12月の最終例会、バツツ例会から話し合いを持ちます。皆さんよろしく申し上げます。

- 砂川ロータリークラブより、11月例会案内を受領しました。
- 女性ネットワークる様より、創立20周年記念事業参加のお礼文を頂きました。
- 11月11日はロータリー財団担当の夜間例会になります。田中会員の所のラブベジタブルにて午後6時30分開催です。次週11月4日は法定休会となっています。お間違いないようにお願いします。
- 本日例会終了後、ガバナ一月信1月号に掲載される留萌クラブの写真を撮影したいと思います。例会終了後外の駐車場でお待ちください。

📁 幹事報告

- 芦別ロータリークラブより、10月会報と11月例会案内を受領しました。

ゲスト

幌加内そばスクール理事長 守田 秀生様

ニコニコBOX

- 守田様、ようこそ留萌ロータリークラブへ。
本日はよろしくお願ひします。 辻本会長
- 守田様、ようこそ留萌クラブへ。おそば楽しみです。 燕幹事
- 守田様、本日の卓話よろしくお願ひします。 関野会員
- 本日おそば楽しみです。 福士会員
- ちょっと良い事がありました。 渡邊会員
- 先週のワイン会楽しかったです。ご来店ありがとうございました。 田中(美)会員

前 回	322,000円
今 回	7,000円
累 計	<u>329,000円</u>

プログラム

「来賓卓話」

幌加内そばスクール 理事長 守田 秀生様
本日はお招きいただきまして、誠にありがとうございます。関野さんには、赤裸々にプロフィールをお渡ししましたが、皆様にそれがそのまま伝わるとは思ってもいませんでしたので、少しだけ恥ずかしい気持ちで一杯です。私は公務員をやっていまして、平成23年に幌加内町長に当選いたしました。平成27年までの4年間を蕎麦を中心にした街づくりに取り組んできました。本日はその時のことを少しお話をさせていただきます。また、現在の本職は真宗興正派了善寺の住職でありまして、話の中に説教くさい話し方が入ってくるかもしれませんが、その所はご容赦下さい。

まずは、ロータリークラブ60周年おめでとうございます。社会奉仕、地域貢献をモットーに日頃ご努力をされたきた事に敬意を表したいと思います。社会奉仕、地域貢献、私どもの仏教の教えでは、自利利他という教えがあります。これは最近、経営方針に自利利他という言葉を使う所が多くなっています。仏教の世界では、自利利他に円満が付きます。自利利他円満と言

いまして、自分の幸せと他の幸せ、これは切っても切り離せないもので、この二つが合わさって私の幸せがあります。これが自利利他円満。この立ち位置を中道と言ひ、真ん中の道を行くという意味で政治の中道とは少し違ひます。政治では保守と革新のどっちつかずの中道ではなくて、人間の生き方を中道という言葉で表しています。これは仏教的な言い方ですが、本来なら最後に話すと書いてありますが、緊張しているのか反してしまいました。

留萌と言うと、留萌の坂本商店という所が魚を積んで幌加内まで売りに来ておりました。私の親が自治区長をやっていまして、小学校の頃、有線放送というのがあり、四角いスピーカーがあつてそこに話しかけると、みんなに話が通じるという、不思議な装置でしたが、こちらには親機があつてマイクで「魚注文ありませんか」と話しかけると、自治区の50~60戸の家から1箱、2箱、半箱下さいと連絡が入り、それを注文のメモとして一覧表にして坂本さんに渡す事、これが自治区長の仕事でした。これを私が小学校の時やらされておりました。半箱と言われるとめんどくさくて、あと半箱欲しい人を探さなければなりませんので大変でした。留萌の思い出としては、その事が一番記憶に残っております。昭和54年に役場職員となりまして、1979年からですが、役場職員となった時のモットーは、「町を良くしたい、町づくりをしたい」と考えまして、昭和50年代には蕎麦づくりが始まってまして、水田は増えたのですが、減反政策がありまして、せっかく水田が増えたのに米が作れなくなったという事で、最初は皆が何も作らず出稼ぎに出てしまい、夏も作らない。その内に田んぼが荒れ果てて、田んぼが減り、どんどん人が減っていく時代になりました。耕作地が休耕してどんどん放棄されていく時代でした。その中で目を付けたのが蕎麦栽培です。幌加内町は寒冷地で雪が多いという事で、なかなか作物も出来ませんでした。それで蕎麦を作ってみたらおいしい蕎麦が出来たので、これをどんどん広げていきまして、全国の蕎麦生産量は51,300トンだそうです。北海道がその内47%

位作っています。北海道の生産量の25%が幌加内の蕎麦粉となっています。全国シェアでは7%になります。そのような事で、蕎麦つくりで町づくりを考えようという事で、私はその目的を達するために平成23年(2011)に幌加内町長に立候補しまして、町長になりました。蕎麦で町づくりをするために組織化をするという事で、町ぐるみで蕎麦の町を作っていこうという事で、役場農協商工会という、ここで言えば商工会議所。それから北海道農業普及センター、これは道の機関。蕎麦生産者。地元で蕎麦による町づくりを担って行こうとするグループ、手打ち蕎麦団体。蕎麦祭り実行委員会など、蕎麦活性化推進協議会という物を作りました。そこが中心となって蕎麦つくりの町を進めてきました。これらについては私が町長になる前にすでに出来ていましたが、私が町長に当選して作ったのが、役場の中に役場地域振興室の中に蕎麦専門係を設けました。北海道から1人出向していただいて、それから東京の蕎麦関係団体のイベントプロデュースをやっていた団体の人を1人スカウトして、それに地元の若手1人の3人体制で蕎麦係を作りました。それを中心にして町づくりを力を入れていきました。

まずおいしい蕎麦をつくるために、土壌改良と品種改良に3人の専門技術員を町の技術センターに雇って活動していただきました。皆様に先ほど食べていただいた蕎麦が「ほろみのり」という品種でこの専門技術員が改良し品種登録をしています。そして、この技術センターが生産農家に蕎麦生産の技術指導を北海道の農業普及センターと一緒に指導する体制を作りました。また、蕎麦は生産した物の乾燥調製が非常に大切になってきます。個々で行うと品質がバラバラになるので、これを一つの施設で行うために平成25年に約12億円かけて蕎麦乾燥調製施設を作りました。これによって幌加内町で作られる蕎麦すべてをこの調整施設で乾燥する事が出来ます。約1ヶ月間で終わります。その後出荷いたしますが、その時に温度を掛けてしまうと品質が落ちてしまうので、それを防ぐため、幌加内は雪が沢山ありますので、全道でも雪に



よる保管倉庫を作っていますが、我々も雪利用型の蕎麦専用保管倉庫を作りました。これは生成27年に作り、約3万俵が保管できます。蕎麦が豊作の時には約4万俵位取れるので少し入らない時がありますが、その時は少し早く出荷いたします。保管倉庫は通年5度位に温度が保たれています。大体市長、町長になると皆が箱モノを作って、これは私が町長の時代に作ったと自慢しますが、この施設は私が町長の時に12億と8億で合計20億円かけて作ったものです。当然お金がありませんので、国の補助金過疎債活用しましたが、70%が地方交付税で戻ってきますので、これらを利用して1億ちょっとで施設を作る事が出来ました。このような仕事するのが首長の仕事です。国会議員を使って補助金の取り合いをします。ですから、これらは私の手柄と言っていますが町の人は認めてくれません。それと製粉製麺工場を持っていますが、これは振興公社の持ち物で、私も2年位社長を務めました。私が社長をやる前は6000万円の赤字でしたが、それを私が社長の時に返そうと振興公社で挽いた粉を担いで東京で販売して回り、2年で借金を返済しました。海外にも売りに行きました。タイ、フィリピンになどにも販売に行き、日本食のお店に販売をしまいいりました。そのような事から、製粉工場をもっとたくさん作らなければならないと、現在町には8箇所の製粉工場があります。

それと観光ですが、温泉施設にレストランを作り、蕎麦店も誘致して、蕎麦道場も作りました。蕎麦祭りは平成6年から開催し、2日間で4万人集まるお祭りになっています。蕎麦の花

第15回 10月28日(水) 天候/晴

ロード、白銀の丘など色々な名前を付けて看板を立て、幌加内に7月下旬からお盆くらいまで蕎麦の真っ白な花の畑の中をドライブしたり、散策したりすることが出来ます。あとは高等学校で蕎麦授業というものをやっています、蕎麦打ちの段位がありまして、蕎麦打ち初段を取らなければ卒業が出来ない。だから幌加内高校の卒業生は全員蕎麦打ちが出来る生徒です。これらが私が手掛けた蕎麦の生産、加工、販売、PRの事業の全てです。生産を増やし販売を増やす事により蕎麦のブランド化を図り、幌加内蕎麦としてのブランドの確立を目指しました。

現在、幌加内蕎麦として蕎麦粉を販売すると他の蕎麦粉より1000円アップの値段になっています。これにより農家離れを達成する事が出来ましたが、それだけでは町の人口減少は止められませんでした。平成27年に町長を退いてから早や5年になりますが、やっぱり幌加内は蕎麦だと言われるような活動が必要だと思います。幌加内に日本蕎麦の聖地として蕎麦を展示する施設を作りたいと思っています。幌加内に行けば蕎麦がわかる。体験できる。食べる事が出来る。このような施設で、これも箱ものですが、私が町長時代にやりたかった、事業の一つです。幌加内町に大手製粉会社の誘致も働きかけました。結果は苫小牧に製粉工場を作る事になりましたが、船で粉を運ぶので陸送費が安く済むので仕方ありませんでした。幌加内が留萌であれば良かったと思っています。

最後に蕎麦打ちでは段位がありまして、それをつかさどる団体として全国麺類文化地域間交流推進協議会と言いまして、長いので全麵協という名前にしています。段位が出来て20年になりますが、今全国に15,000人、北海道に4,000人の方々が段位認定されています。この全国の全麵協の北海道理事を今、私が務めています。この全麵協の目的は、自分づくり、仲間づくり、地域づくりで、蕎麦を通して自分の自己実現を図っていきます。蕎麦づくりを通じて仲間を作っていきます。仲間と共に地域づくりをしていきましょう。私が一番はじめに言った言葉ですが、蕎麦を通じて仲間づくり、地域づくりをしていく事は皆様がロータリーで行う社会奉仕と同じではないかと感じています。現在、プロフィールに書いてありますが、全麵協の蕎麦道の最高段位は6段で、今年1月にその最高段位の試験があり、全国で8名の6段位の中に入りました。蕎麦の道は、人の道。共にそばを打つ。これからは仲間と共に蕎麦打ちを楽しみ、仲間づくり、地域貢献をしながら幌加内で生活を続けて行こうと思っています。

本日はこのような所にお呼びいただき、ありがとうございました。



プログラム

(第16号・第17号) 合併号

- 本日
「年次総会」
- 次週予定
— 未定 —

配偶者誕生日
渡 邊 順 子
山 本 由 紀 子

結婚記念日
櫛 井 俊 介

No. 2882
第17回 11月18日

出席報告

前 例 会	会員総数	27名
	出免会員	3名
	出免出席	3名
	基準会員出席	17名
	出席率	74.07%

前 々 会	第15回	10月28日
	欠席会員	0名
	内メイクアップ	6名
	修正出席率	85.71%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 国際ロータリー 2510地区ガバナー事務所よりクラブに対して、クラブの状況報告についての連絡がありました。前年度から今年度への引き継ぎについて、会員の推移状況及び会員増強について、クラブ戦略計画の推移状況、ポリオや財団等への活動及び寄付への取り組み状況などの取り組みについて確認がなされました。
2. 本日午後6時より臨時理事役員会を開催し、12月9日開催予定だったクリスマス夜間例会を中止する事を決定しました。ステージ3という状況ですので、苦渋の決断を致しました。楽しみがまた一つ減ってしまい誠に残念ですがよろしくお願ひします。
3. また、例会についても話され、11月18日の例会については年次総会のため開催予定ですが、12月以降の例会については11月26日開催の定例理事会にて最終判断をする事に致しました。18日の例会ですが、食事はしないで皆様に弁当をお持ち帰りいただく形を取りたいと思います。なお、11月開催予定の新会員研修会については開催いたします。よろしくお願ひします。
4. カバナーエレクト事務所より、第1グループガバナー補佐候補鈴木会員に対しての委嘱状が届いていますので、お渡しいたします。

👤 幹事報告

- 深川ロータリークラブより、10月会報と11月例会案内を受領しました。
- 妹背牛ロータリークラブより、11月例会案内を受領しました。
- 羽幌ロータリークラブより、10月会報と11月例会案内を受領しました。
- 赤平ロータリークラブより、10月会報を受領しました。
- 砂川ロータリークラブより、10月会報を受領しました。
- 留萌市議会より、11月13日に開催を予定しておりました「市民と議会の意見交換会」が中止となり、事前アンケートの結果が届いていますので回覧致します。
- 11月開催予定だった地区の財団セミナーはコロナの関係で中止となりました。出席予定でした高橋エレクトには地区から資料が送られてきますのでよろしくお願ひします。

👤 ニコニコBOX

- 年金の手続きを完了しました。やっぱり歳なのですね。 辻本会長
- 奉仕プロジェクト委員会、本日はよろしくお願ひします。 燕幹事
- 今日はお当番例会です。よろしくお願ひします。 高橋エレクト

- パースディプレゼントいただきました。ありがとうございます。51歳がんばります。

申橋副会長

- 本日はしばらくぶりに棚の整理をしました。スッキリして良かったです。西原会員
- コロナに負けず頑張りましょう。関野会員

前 回	329,000円
今 回	10,000円
累 計	339,000円

プログラム……………

「ロータリー財団月間」

ロータリー財団委員会 高橋エレクト

今月はロータリー財団月間です。留萌クラブでは先月から、財団・米山の寄付金を皆様からお預かりしています。ロータリーレートは11月に入って104円になっています。円高になっておりますので、今のうちに寄付をお願いします。11月の例会はコロナの関係で休会になるかもしれませんが、早めに寄付をお願いします。11月中には寄付の送金をしてしまいたいのでよろしくをお願いします。皆さんから頂いた寄付はロータリー財団に150ドル、残りは米山の寄付に回させていただきます。財団が150円安くなり、米山に150円多くの寄付が回ります。なお、この寄付は年末調整の対象になりますので、後ほど領収書が届き次第、皆様にお渡しいたします。また、財団補助金については地区のホームページに掲載されておりますので、詳しく知りたい方は見ていただければと思います。

今年度はコロナによって地区研修協議会、会長エレクト研修セミナーまで中止となってしまいました。大変な年ですが、皆さんに少しでも多くの寄付をお願いします。

それでは少しだけ財団についてお話致します。寄付の種類は、年次基金寄付、ポリオプラス基金寄付、恒久基金寄付、その他の寄付に分かれます。年次基金寄付は寄付の50%が3年後にDDF（地区財団活動資金）、残り50%がWF（国



際財団活動資金)になり、地区補助金やグローバル補助金、その他財団プログラムの活動資金を支えます。ポリオプラス基金寄付についてはポリオ撲滅活動を支援します。恒久基金寄付については収益の50%がロータリー平和センターの維持費や奨学金、グローバル補助金の資金となります。またその他の寄付は、承認済みの補助金プロジェクトの寄付となります。

我々が利用している地区補助金プログラムの仕組みについてですが、シェアシステムによる寄付金の配分ががなされ、用途指定寄付以外のロータリアンからの寄付金、年次寄付金の全額と、恒久基金寄付の収益を3年後にWF（国際財団活動資金）とDDF（地区財団活動資金）にそれぞれ50%ずつ配分され、使用される仕組みです。WFはロータリー財団管理委員会が用途を決定し、DDFは地区が用途を決定します。地区補助金はその中の50%以内の額をもって地区が財団に一括申請をします。クラブは地区に地区補助金個別プロジェクトを申請し、地区より補助金を受け取る仕組みです。つまり私達が寄付したお金が3年後に使用され、国際財団活動資金と地区財団活動資金に分けられ、各々50%が配分され、地区活動資金の中の50%、全ての寄付の25%までが私達への補助金事業として使える額になります。地区活動資金の残りの50%の資金は、グローバル補助金事業やポリオプラス基金、ロータリーフェロシップ基金、などに使用されます。とにかく、私達が財団に寄付する原資が財団の事業を活性化させる源になっていますので、皆さん沢山の寄付をこれからもお願いします。